

# <作成例【文献一覧】>

## 文献一覧

### 【書籍】

著者名『書名』出版社，20XX年。

：

：

：

：

### 【論文】

著者名「論文名」『雑誌名』（発行元）第X巻第Y号，20XX年，掲載頁。

：

：

：

：

### 【ホームページ上に掲載された情報】

〇〇省,19XX年，「〇〇〇白書」,〇〇省ホームページ  
(<http://www.△△△>,20XX年Y月Z日アクセス)。

：

### 【インタビュー、ヒアリング等】

実施した年月日、相手、場所を記載すること。

#### <参考文献の掲載順>

日本語文献(著者名五十音順)

書籍  
論文等

外国語文献(ファミリーネームのアルファベット順)

書籍  
論文等

※「文献一覧」については、本文とは別に、“1”からページ番号を付与すること

## 注、引用、文献一覧における文献の表記(例)

原則的には以下のとおりだが、演習担当者の指示に従うこと。

### 【1】日本文献

#### (1)単著の場合

著者名『書名』出版社，19XX年，XXX頁。

#### (2)編著論文集の場合

著者名「論文名」(編著者名『書名』出版社，19XX年) XX-YY頁。

#### (3)雑誌論文の場合

著者名「論文名」『雑誌名』(発行元) 第X巻第Y号，20XX年，XX-YY頁。

#### (4)新聞記事の場合

著者名(署名記事なら)「見出し」『新聞名』[夕刊なら，二重カッコの外側で(夕刊)と表記] 20XX年XX月YY日。[頁は表記しなくてもよい。発行時間で配列が変わる場合があるので]

【2】外国語文献 [カンマ，ピリオドの後には半角空ける。副題がある時はコロンで切る。翻訳がある場合は，日本語文献の表記に倣って外国語文献の後に付す。]

#### (1)単著の場合

S. Žižek, *The Ticklish Subject: The Absent Centre of Political Ontology*, London and New York, Verso, 1999, p. 23. (鈴木俊弘・増田久美子訳『厄介なる主体1——政治的存在論の空虚な中心』青土社，2005年，45頁。)

#### (2)編著論文・論文集の場合

J. L. Zimmerman, "The Costs and Benefits of Cost Allocations," in *The Economics of Accounting Policy Choice*, eds. by R. Ball and C. W. Smith, JR., New York, McGraw-Hill, 1992, pp. 32-38.

#### (3)雑誌論文の場合

F. J. Varela, "Metaphor to Mechanism," *Journal of Consciousness Studies*, Vol. 4, No. 4, 1997, pp. 344-346.

○前掲書の注記については下記による

[外国語文献の場合は，当該外国語の文献表記の一般例に倣って表記する。]

#### (1)直前出の場合

同書，7頁。

*Ibid.*, p. 18.

#### (2)その他の場合 [同一著者のものが複数ある場合は出版年を付す。]

著者姓，前掲書，17頁。

著者姓，前掲論文，67頁。

著者姓，前掲論文(1999年) 5頁。

著者姓，前掲論文(2009年 a) 89頁。

著者姓，前掲論文(2009年 b) 39頁。

Solomons, *op. cit.*, pp. 23-25